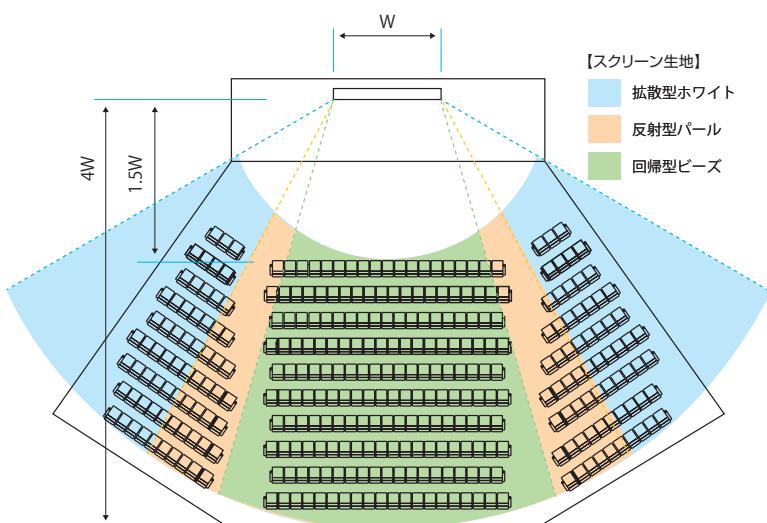


スクリーン選定のポイント -3-

スクリーンサイズを決める



※オーエスでは、11pのテキストフォントが判別できる距離を目安にしています。

スクリーンまでの距離で割り出す

スクリーン設置予定の部屋の広さから、視聴者の一番後ろまで何メートル取れるかで、およそのスクリーンサイズを決める事ができます。

10mの距離が取れるのであれば、左の図から $10m \div 4 = 2.5$ (Wのサイズが2.5m) と導き出せます。P.17のスクリーンイメージサイズ表により、120H、120Wが推奨のスクリーンという事になります。

プロジェクターを決める

通常の会議室の照明は約700lxの照度が良いと言われています。その環境で正常にデータの読めるスクリーン面の輝度は300cd/m²が必要です。輝度は次の式で求める事ができます。

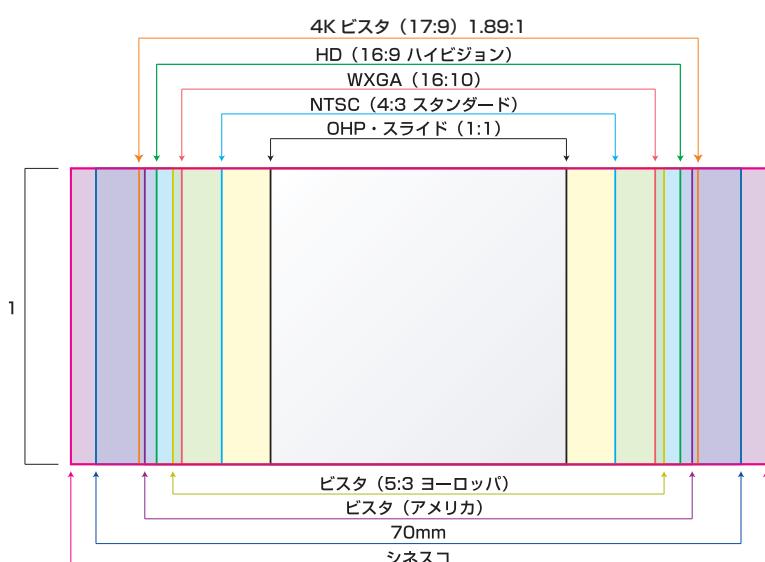
$$\frac{\text{プロジェクターの光出力 (lm)}}{\text{スクリーンの面積 (m²)}} \times \text{スクリーンゲイン} \times \frac{1}{\text{円周率}}$$

上記の式から3000lmのプロジェクターで120H-WG103のスクリーンに投写した場合に、スクリーン面の輝度は213cd/m²となり、室内照明を落とす、スクリーン生地を変更するなどの対策が必要だという事が分かります。BU201に変更した場合には640cd/m²という明るさが確保できる事になります。

※スクリーンのゲイン (▶P.23)

スクリーンアスペクト比(画面横縦比)

スクリーンサイズはタイプによって横縦の比率が変わります。
NTSCタイプ(横縦比率4:3) [旧作映画] や、HDタイプ(横縦比率16:9) [ハイビジョン] などです。
図を参考に、目的にあった比率のものをお選びください。
本カタログ掲載の規格品はNTSCはV、HDはH、WXGAはWで型式を表しています。



□ OHP・スライド	1:1
□ NTSC (4:3 スタンダード)	1.33:1
□ ビスタ (5:3 ヨーロッパ)	1.66:1
□ HD (16:9 ハイビジョン)	1.77:1
□ ビスタ (アメリカ)	1.85:1
□ 70mm	2.18:1
□ シネスコ	2.35:1
□ WXGA (16:10)	1.6:1
□ 4Kビスタ (17:9)	1.89:1